

第2学年 外国語活動 学習指導案

日 時:令和元年10月21日(月)

第5校時 13:25~14:10

場 所:国際理解教室

学 級:2年2組 35名

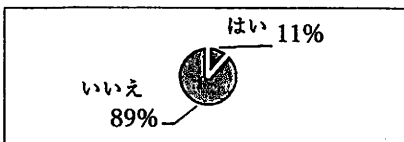
1 単元名

「すきなものをつたえよう」

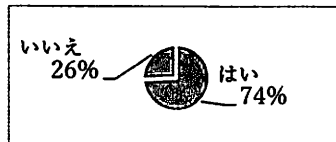
2 児童観

本学級の児童は、男子20名、女子15名の35名である。外国語についての興味・関心については、①~③のような傾向があった。

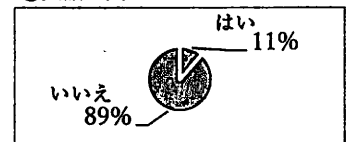
① 英語を話すことができますか



② 英語のあいさつを何か知っていますか

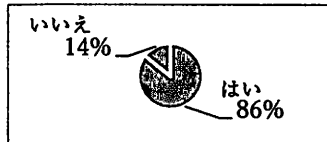


③ 英語を聞くことはできますか

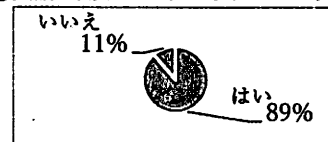


①の質問に対し、「はい」と答えた児童の実態は次の②の質問で出たような「Hello」「Good morning」「See you」「Good bye」等、簡単なあいさつをいくつか話せるということだった。この結果から簡単なあいさつ程度は知っているが、英語を「話す」「聞く」ことはほとんどできないということがわかる。

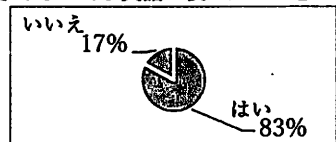
④ 英語を話せるようになりたいですか



⑤ 英語を聞けるようになりたいですか



⑥ 大きくなったら英語が役に立つと思いますか



一方で④、⑤の質問にも9割近くの児童が「はい」と答えている。したがって、英語を話したり聞いたりする「会話」を重視した学習をすることへ①の期待が大きいことが考えられる。また、⑤の質問に、9割の児童が「はい」と答えている。この結果から、児童は英語を学ぶことは将来に必要なスキルであるということを自覚している。そのため、意欲的に学習に取り組むことができると考える。

前単元では「I like (色)」を学習した。外国語活動の学習を楽しみにしていた児童が多く、あいさつや歌、ゲーム等、楽しく活動していた。また、児童から「金色は英語で何て言うんですか。」や、発表をする時には「いきなり好きな色を言うんじゃなくて「Hello」ってあいさつをした方がいいと思います。」と、既習を生かしつつ、さらに話したいという意欲も伺える。そのため、本単元でも児童が作りたいたいと言った「夢の動物園」を目標にし、言いたいと思う単語を学習したり、本時では発表の前の一言を考えたりする活動を取り入れる。

3 研究主題にせまるために

- ① 児童とともに単元計画を作成し、「夢の動物園をつたえよう」という目標に向かっていくことで、それぞれの活動に必然性をもたせる。(主体的な学び)
- ② 発表や対話の中での言葉を教師が教えるだけでなく、児童に尋ね、考えさせることで Script+1 を生み出させる。(対話的な学び)
- ③ 既習の学習(「色」、「I like~」など)や生活体験を活用していく場を設定しながら学習に取り組ませる。(深い学び)

4 単元の指導目標

対話的な活動を通して、英語に親しみ進んで学習に取り組む。(学びに向かう力・人間性等)

5 言語材料

(1) 表現(児童の発話)

I like a (blue cat). (It's cute.)

(2) 語彙(児童が使う語彙)

(dog, cat, rabbit, giraffe, elephant, mouse, monkey, tiger, sheep, snake, frog) 等

6 中学年に向けて何がつながるのか

聞くこと	イ 身近な人や身の回りの物に関する簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。
話すこと（やり取り）	イ 自分のことや身の回りのものについて、動作を交えながら、好みや要求などの自分の考えや気持ちなどを伝え合う活動。

7 単元の評価規準

主体的に学習に取り組む態度	学習に興味をもち、英語に親しみ楽しんで活動しようとしている。
---------------	--------------------------------

8 単元指導計画（全4時間）

時	目標（◆）と主な活動（【 】、○）	◎評価〈方法〉
1	◆好きな動物の表現を理解する。 ○あいさつ ○Warm up Hello song ○絵本 Brown Bear, Brown Bear, What Do You See? ○学習課題の設定 ○動物の単語練習 ○動物が出てくる歌 ○I like a ~.の表現練習 ○I like a ~.を使った仲間探し ○振り返り ○Good bye song ○あいさつ	◎英語に興味を持ち、好きな動物の言い方の表現を理解しようとしている。 〈行動観察〉〈リフレクションカード〉
2	◆自分の好きな動物を相手に伝える。 ○あいさつ ○Warm up Hello song ○The Animal Song ○動物の単語練習（新出単語含む） ○I like a ~.の表現の復習 ○ジェスチャーゲーム ○振り返り ○Good bye song ○あいさつ	◎好きな動物を言う表現を使って、自分の好きな動物を相手に話す。 〈行動観察〉〈リフレクションカード〉
3	◆自分の想像した好きな動物を相手に伝える。 ○あいさつ ○Warm up Hello song ○動物の単語練習 ○形容詞の復習 ○動物づくり ○発表練習 ○発表 ○振り返り ○Good bye song ○あいさつ	◎好きな動物を言う表現を使って、自分の好きな動物の特徴を相手に話す。 〈行動観察〉〈リフレクションカード〉
4	本時 ○本時については、「9 本時」を参照。	

9 本時（全4時間の4時間目）

（1）本時の目標

自分の好きな動物の特徴を相手に伝わるように発表し、動物園を完成させる。

（2）準備物

・CD ・リフレクションカード ・パペット ・動物カード ・動物園の絵

（3）表現・語彙

・I like a 形容詞 動物. It's 形容詞 (例 I like a red cat. / I like a big dog. / It's cute.)

(4) 本時の展開

時間	児童の活動 △児童のつまずき	指導者 (T) の活動と使用英語例 ☆児童のつまずきに対する教師の支援 ◎評価 〈評価方法〉	準備物
導入 5分	Greeting ○あいさつをする。 ○天気を聞く。 Warming up ○Hello song を歌う。 ○「BEST」を確認する。	・楽しく身振り手振りをつけながら、元気よく歌うように声をかける。 ・意識をしやすいように黒板に掲示する。	CD
展開 30分	Today's goal ゆ め の ど う ぶ つ 園 を つ た え よ う 。 Practice ○前時までの復習をする。 ○発表の仕方を練習する。 〈発表の仕方〉 ★黒板に貼ってある動物園の絵に自分が作った動物を貼っていく。 【Welcome(to our Zoo!!)】 C 1 : I like a pink & white panda. It's cute. C 2 : I like a ~ C 3 : I like a ~ C 4 : I like a ~ 【This is our Zoo!!】 ① 教師の後に続けて言う。 ② 児童のみで言う。 ※ 【】 の部分を児童と考える。 予想される児童の反応 発表の仕方を C 1 ~ C 4 の部分だけ言う。 T : こういう風に発表します。 C : いきなり好きな動物を言ったら変だと思ふ。今までは好きなものを言う時に「Hello!」って言ってたから。 C :好きなものを言って終わるのも変。 T :じゃあ好きな動物を言う前と後に、何かみんなで言ってみよう。例えばどんなのいいかな。 C : Hello. C : Thank you. C : (わたしたちの動物園へ) ようこそって言ってみたいなあ。 T : Welcome (to our Zoo!!) と言うよ。班で好きな言葉を入れて発表してみよう！ ○班ごとに練習する。 △言い方に自信がない。	・既習事項を想起させ、児童が言いたい言葉を取り入れるようにする。 ☆机間指導をしながら、苦手な児童と一緒に言ったり、近くの児童に教えてもらったりする。	パベット 動物園の絵 動物カード

	Presentation ○班ごとに動物園を発表する。	◎好きなものをいう表現を使って、自分の好きな動物の特徴を相手に話そうとしている。 〈行動観察・リフレクションカード〉	
ま と め 10 分	Reflection ○リフレクションカードに振り返りを書き、発表する。 Closing ○Good bye song を歌う。 ○あいさつをする。	・数名の児童を指名する。 ・発表者に対して、クラス全体でほめる。 ・楽しく身振り手振りをつけながら、元気よく歌うように声をかける	CD

(4) 授業観察の視点

- ・既習を生かし、自信をもって発表していたか。(深い学び)
- ・自分たちで学習課題を設定することにより、学習活動に必然性と意欲をもって取り組んでいたか。(主体的)
- ・児童に発表する際に必要な言葉を考えさせる活動は対話的な学びにつながったか。(対話的)

10 板書計画

